

アナウンス

加藤様

本選に進まれた方の実力差はほとんどない。1点あげるとすれば、テンポやスピードを持ち時間いっぱい使える余裕があれば、早口にならず言いたいことを伝えられたのでは？と思う生徒さんがいました。もうひとつ、話している人と同じように聞いている人も呼吸していることを考えれば、一息で長いセンテンスを読み上げることにはデメリットがあることを知ってほしいと思います。

ラジオの場合だと「表現したいことは先に言う」のが原則。話の幹を先に伝え、話の組み立てとなる枝葉の部分を、聴いている人が想像しやすいように話していくと、言いたいことが伝えられやすい。

テーマが『継承』ならば、過去・現在をどう表現し未来につなげていけば、聴いている人に自分の伝えたいことを表現できるのか。それができればしゃべり手の個性となって話に説得力を持つことをもっと考えてほしい。

教員審査員

- ・読みが早い人が多かった。
- ・話題の面白い人が多かったが、文章表現を工夫するともっと楽しく聞いてもらえるようになる。
- ・力が入りすぎていて、自然な読みができていない人が多かった。
- ・ずば抜けて能力の高い人はいなかったの、誰でも努力すれば上位を狙えると思う。

朗読

内藤博之様

朗読は、生まれてから高校時代までの個人の感性を、作品とどのようにコラボレーションさせて表現するものだと考えます。細かなテクニックはいろいろあるでしょうが、作品をどのように自分の感性のフィルターを通して表現するか。高校生の皆さんも楽しみながら読んでみてはいかがでしょうか。うまくなってスキルが上がってくれば最後は『間』をどう使うかになります。頑張りましょう。

山中誠也様

とてもレベルの高い大会でした。技術的なことに関しては、その人その人でよいところをもっと訓練をしなくてはいけないところがあると思いますので、良いところはもっと磨き、悪いところは少しずつ克服していきましょう。注意してほしいことは、作品の内容（世界）を今の自分としてどうとらえ、感じているかを大切にしてほしいということです。自分の表現する作品をもっと好きになっていくようにしてほしいと思います。

教員審査員

- ・ラジオ日本の「私の図書室」などを聴いて、勉強してほしい。
- ・自分が今生きて感じていることを大切にしてほしい。
- ・文章の抽出が大切。欲張らず適量を目指そう。
- ・マイクの調整をしっかりと。
- ・地の文や状況説明の文に感情を入れない。スピードと間だけで勝負を！
- ・会話と文を繋ぐ間が大切！ブレスの高さが大切！
- ・自分の声で！作りすぎないで！

- ・ 声の響きを足せ！朗読は80%、アナウンスは60%の響きを足すことが大事！
- ・ 作品選定にも気を遣おう！
- ・ 自分の声にあった作品を選ぶことが大切。
- ・ 1知文を長く読むように。あまり切らないように。

AP

倉林様

AP 部門は「音の豊かさ・面白さ」を表現する、楽しい部門だと思います。人の心を動かすために『音の力』で聞いている人を「現場へ連れて行く」あるいは『主人公の見方にする』ことを考えてください。ヒントは「現場の音・ノイズ」を大切にすること。これを「現場音」と呼びたいぐらいです。自分たちの感性を信じて何度も作り直し5分間で人の心を動かす。この面白さをこれからも挑戦しつづけてください。

安藤様

大変楽しい審査でした。映像や音声、取材の仕方も工夫されていました。心温まる内容のものもあり、考えさせられる内容のものもありと内容も多彩で興味深く見ることができました。ここまでの作品を作り上げた高校生の皆さんも大変素晴らしいと思います。

熊本様

さらにレベルの高い作品を目指すために、確認してほしいことがあります。

- ・ 聞き手意識を持って見直す・聴き直す
- ・ 自分たちが作ろうとしたもの・伝えたいと思ったものがうまく伝わっているか。
- ・ 効果音（SEやBGMのバランス）はどうか
- ・ 初めて聞く（見る）人にとってわかりやすい内容になっているか。
- ・ 自分達が感動したことが、ちゃんと聞き手に伝わっているか。

こうしたことは、時間の無い高校生の皆さんであることはわかっていますが作品を多く作ってみることで。そうすればだんだんとレベルの高い作品を作ることができるようになると思います。

VM

種子島様

定められた条件の中で、伝えたいメッセージ表現することは、大変難しいことだと感じたことでしょう。

『伝えたい！』という気持ちが強ければ、厳しい条件もクリアできますので、伝えたい！と思えるテーマを高校生の感性で見つけてください。それを表現する手段や技術、機材を自由に使えるあなたたちの世代は非常にラッキー！だと思います。

伊吾田政宗様

高校生のパワフルな活動成果に感動しました。高校生が自ら設定したテーマについて取材し、その取材の上に考察を進め、作品へと作り上げる番組作りに「さすが高校生！」と感じました。

教員審査員

- ・テーマについて制作者の理解が不足しているものがあった。
- ・5分の時間を有効に使う
- ・夜の撮影など、撮影・編集は努力の成果が見られる
- ・ナレーションとBGMのバランスに注意
- ・インタビューの音質に注意

情報

柏木隆良様

使命を持って<Mission>
情熱的に<Passion>
行動して<Action>
素晴らしい発表を期待しています。

OG様

自由部門

0	横浜国際	アンケートは良かったが、すべてそのグラフがあるともっとわかりやすくよかった。練習が必要
1	綾瀬西	目の付けどころが良く、すごく面白かった。スライドのデザインや文字に工夫を。
2	生田	文字が小さい。色の工夫。起承転結がしっかりしていてすごくわかりやすかった。
3	新羽	つなぎの部分で写真を使い、周りの人に聞くことで発表に引き込めるのがよかった。原稿を見ずにやると。
4	向陽館	余談が多いが自分の言葉で面白い。スライドをもっと増やしていいと思う。話の内容はまとまっていて。
5	元石川	スライドのアニメーションのつかい方がよかった。文字がもう少し大きくてもよかった。もっと練習するともっと良かった。実物や動画があって興味が持てると同時に理解しやすいが見せる工夫が必要。
6	綾瀬西	「・・・え？」が現状の疑問をわかりやすく見えてよかった。学校名は略さずに言うべき。システムの案は良かったが少し不十分である。が、身近なテーマで内容も筋が通っていて良かった。
7	日大藤沢	学校の授業でやることでテーマがとてもよいと思った。話もわかりやすく、声も聞きとりやすかった。原稿を見ないと。声の強弱・スライド・身振り手振りはとてもよかった。
8	向上	とても難しい内容だったが実物・図・写真を使用しており、とてもわかりやすくなっていて
9	翠嵐	声も聞きとりやすく、自分の学校から視点を広げていってとてもよかった。生の声もあって。身振り手振り表情があればよかった。最後の自分たちがしていくこと大切にしたいことを言葉だけでなくスライドにしてください。
10	相模女子	対策と実験結果があってとてもまとまっていた。しかし失敗だったので最終的な対策があるとよかった。

1 1	元石川	身だしなみ・表情 。改善してあってとてもよかった!!スピードも声のトーンや強弱もよく目線もよかった!!可能なら PC の上に原稿を置きマイクを使わずに身ぶり手ぶりがあるともっと良い。
-----	-----	---

課題部門

2	綾瀬西	発表の仕方に工夫がみられとてもよかった!!過去を振り返ることがいじめへのつながりが微妙だった。もっと関連点を作るかどちらかに絞った方がわかりやすい。
6	綾瀬西	話がまとまっており、ストーリー性がありとても面白かった!!いろんな視点から見ており未来につながっていてテーマに沿っていると思いました。話し言葉に少し気をつけたり話以外の身振り手振りを気をつけましょう。